

SPECT定量化と標準化に関する ワーキンググループ講演会

2008.10.24 (金) 12:30▶14:00

「昼食をご用意いたしております」

幕張メッセ 第5会場 〒261-0023 千葉県美浜区中瀬2-1

SPECT画像再構成・ 画像処理の標準化と その評価に関する研究

座長

飯田 秀博 先生

国立循環器病センター 放射線医学部 部長

講演1

既存SPECTを使った定量化と標準化の物理工学的展望

飯田 秀博 先生 —————・ 国立循環器病センター 放射線医学部 部長

講演2

SPECT臨床診断法の精度評価の手法について

松田 博史 先生 —————・ 埼玉医科大学国際医療センター 核医学科 教授

講演3

脳血管障害の診断における標準化の必要性と意義

中川原 譲二 先生 ———・ 医療法人医仁会 中村記念病院 脳神経外科 診療本部長

講演4

多施設評価研究の必要性、応用領域

畑澤 順 先生 —————・ 国立大学法人 大阪大学大学院 核医学教室 教授

SPECT定量化と標準化に関するワーキンググループ講演会

SPECT画像再構成・画像処理の標準化とその評価に関する研究

2006年に日本核医学会にてワーキンググループ『SPECT画像再構成・画像処理の標準化とその評価に関する研究』が発足し、ふたつの研究事業に基づく共同評価研究が開始されました。QSPECTプログラムをもとにクオリティコントロールを監視しつつ撮像プロトコルの標準化が試みられ、さらに検証と臨床的効果が評価されています。研究活動の最新の情報と今後の課題・展望、特にクオリティコントロールとプロトコル標準化の必要性について議論したいと存じます。

国立循環器病センター 放射線医学部 部長

飯田 秀博

About JCNN

日本脳神経核医学研究会について

日本脳神経核医学研究会は、脳核医学に関する基礎および臨床研究の推進とその普及をはかり、それを通じて我が国の学術文化の発展に寄与し、国民の保健と福祉の向上に資すると共に、国際協力につとめることを目的としています。

脳核医学の発展には、放射線科や核医学科において検査を実施する医師や技師に加えて、脳神経外科、神経内科、精神科などで実際の診療に携わる臨床医、装置や医薬品の開発を行う物理工学、薬学、化学などの基礎研究者の協力が不可欠です。本研究会は、これらの学際的な領域の医療関係者や研究者を対象に、セミナーや講演会などを開催して、脳核医学の幅広い普及をめざします。また、脳核医学に関する多くの課題について議論する場を設定して、検査法の確立、臨床使用のためのガイドラインの作成、国際的な枠組みの中で情報交換などを行っていきます。

研究会の会員相互の情報交換には、インターネットを活用して幅広く情報を提供していきたいと考えています。本研究会が主催、共催する行事や関連研究会の案内もホームページでご覧いただけます。会員が情報を共有するとともに、外部に向けて発信できる新しいタイプの研究会を指向して活動を行っていききたいと考えています。この趣旨にご賛同いただき、脳核医学の発展のために、是非本研究会にご参加下さい。

詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www2.convention.co.jp/jcnn/>

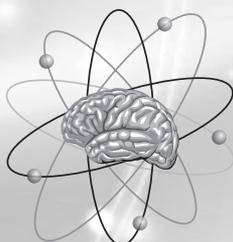
日本脳神経核医学研究会事務局

〒100-0013 千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞ヶ関ビル18F

日本コンベンションサービス株式会社内

E-mail: infojcnn@convention.co.jp

Tel: 03-3508-1214 Fax: 03-3508-1302



JCNN